

## ゴミと未来

すごいゴミのはなし

三年 増田 暖大

二の本は、お笑い芸人のたきざあさんが、十年間のゴミ清める員の仕事をする時にあった、へんなゴミや食品ロスのことが書いてありました。

のゴミ、たみそしるをそのままとえるゴミのふくろに入れていろのを読んで、ふつうは飲むはずなのに、そんなことをする人がいるんだと思います。

ぼくが二十九さいのころに、さい終しよう分場が、いっぺいになってしまおうと書いてあって、おどろきました。もし、ゴミがすてられなくなったら、どうしようかと思いました。

そして、三つのRをはじめて知りました。三つのRは、リデュースとリユースとリサイクルです。リサイクルはだれでもできそうだと思います。ぼくにも分別ができるなと思います。

ました。

この本を読んでから、リサイクルのマークをよく見てすてるようにしました。やってみると、ゴミを分別するのは楽しいなと思いました。そして、ゴミをへらそうと思いましたが、いらぬものは買わないようにします。また、フードドライブに持っていきけるものがないかさがしてみたいです。

この先の未来に、ゴミでたいへんなことがおこるとわかるので、この本をクラスのみんなやお父さんお母さんにおすすめしたいです。もえるゴミのはいのりょうが、今もほとんどふえていると、この本を読んでわかります。

ぼくは、プラスチックのリサイクルマークをおぼえて、分別するようになりました。今まで、もえるゴミにしてきたおがしのふくろは、もえるゴミではなかつた。気がつきました。みんなも、ゴミをすてる前に、何のゴミかを考えてほししています。ぼくは、ゴミのまみりでない、きれいな未来にしたいです。